

ユースケース別の価格がわかる！ ～SiteGuardシリーズの選び方ガイド～

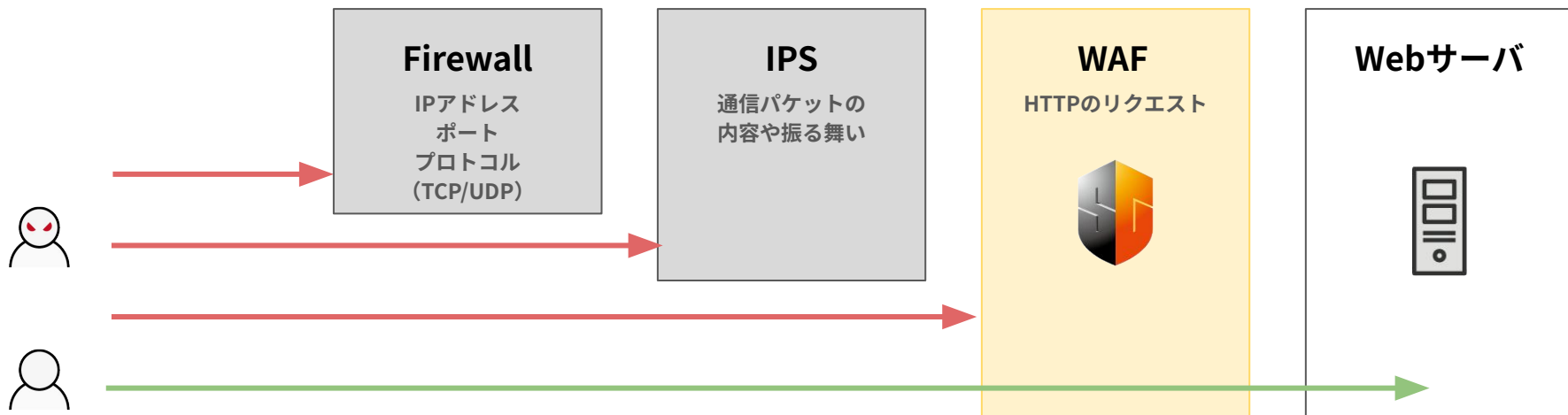
クラウド型／ソフトウェア型の純国産WAF



WAFとは

Web Application Firewall (ウェブアプリケーションファイアウォール)

WAFはWebアプリケーションの保護に特化したセキュリティ対策で、HTTPプロトコルでやり取りされるデータを検査し、Webアプリケーションの脆弱性を悪用する不正アクセスからWebサイトを保護します。



「SiteGuard」シリーズについて

SiteGuardシリーズ16年以上の実績

- ・保護対象数のサイト数は150万サイト超
- ・継続率99%以上
- ・WAF市場初期より国産メーカーとして販売期間16年以上
- ・IPA発行「WAF読本」へ監修協力するなど公的機関からの信用を獲得
- ・官公庁や金融機関をはじめ規模・業種問わず幅広い環境での導入実績
- ・Webサーバ数百台や数万VMなど大規模環境で安定稼働する品質
- ・高い運用性が求められる大手レンタルサーバーの多くで標準採用



※2023年12月期_指定領域における市場調査
※調査機関：日本マーケティングリサーチ機構

導入実績

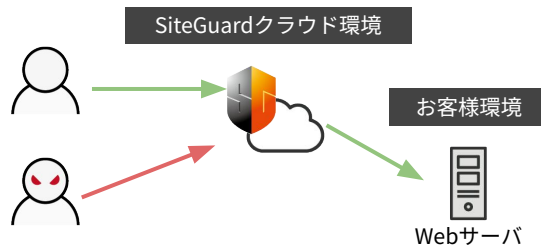


「SiteGuard」 シリーズラインナップ

Cloud Edition



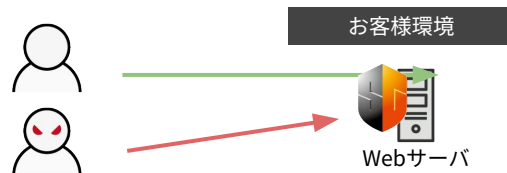
- DNS切替のクラウド型WAF
- 最短2営業日～ご利用開始
- ネットワーク構成変更不要
- 初期登録とDNS切り替えのみ



Server Edition



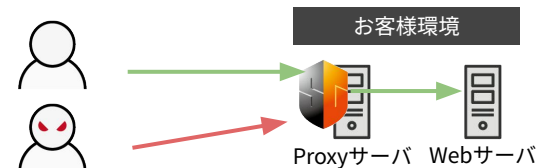
- Webサーバのモジュールとして動作するホスト型WAF
- ネットワーク構成を変更せずに導入可能
- 管理するサーバを増やさずに導入可能
- シンプルに導入が可能



Proxy Edition



- リバースプロキシとして動作するゲートウェイ型WAF
- Webサーバと独立した構成
- 複数のWebサーバを集約
- 保護対象毎に設定のカスタマイズが可能



「SiteGuard Cloud Edition」とは

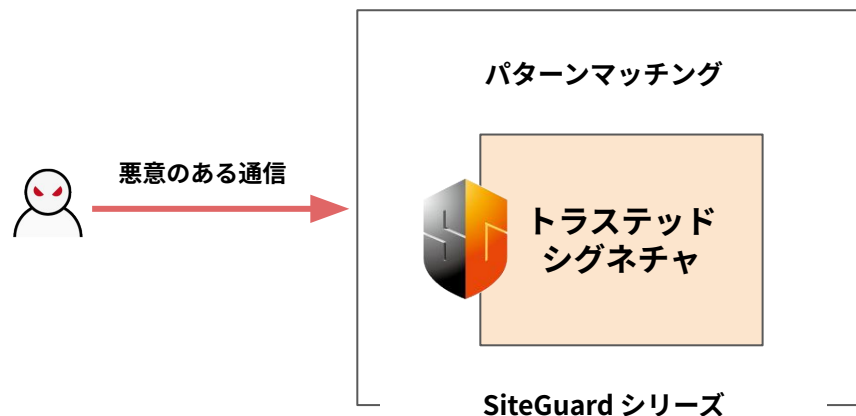
マネージドサービスとして提供するクラウド型WAFです

SiteGuard Cloud Editionはクラウド型のため、
専用ハードウェアを用意したり、物理的なネットワークを変更する必要がなく、
サービスの提供事業者がWAFの運用を任せることができます。



「SiteGuard」が提供する防御機能

トラストッド・シグネチャによるパターンマッチング



- 攻撃パターンを定義したリスト（トラस्टッド・シグネチャ）を標準搭載
- SQLインジェクションやクロスサイトスクリプティングなど代表的な攻撃の多くに対応
- 独自の検査ロジックを組み合わせることで、高速且つ高い精度で攻撃を検出
- 検出時は設定（拒否、監視、フィルタ）に従い通信を処理
- トラストッド・シグネチャは定期的に更新しており、常に最新の脅威に対応

※ソフトウェア型は自動更新が可能（手動更新やオフライン更新も可能）

「SiteGuard Cloud Edition」はWAFの導入と運用に関わる様々な悩みを解決します

手軽なセキュリティ対策！



SiteGuardのクラウドサービスなら、簡単な設定で高度なセキュリティ対策が可能。専門知識がなくても、手軽にWebサイトを保護します。

WAFでサイト状況を可視化！



WAFを活用し、リアルタイムでWebサイトのセキュリティ状況を可視化。サイバー攻撃を即座に検知し、迅速に対処します。

運用は専門家が対応！



セキュリティ製品の運用管理はSiteGuardの専門家にお任せ。設定から監視、対応まで、全てをプロフェッショナルがサポートします。

低価格で複数のサイトを守る！



低価格で複数のWebサイトを保護します。小規模なサイトから大規模なサイトまで、幅広いニーズに対応。経済的にセキュリティ対策を強化し、安心して運営できる環境を提供します。

DNSレコードの変更だけで簡単導入

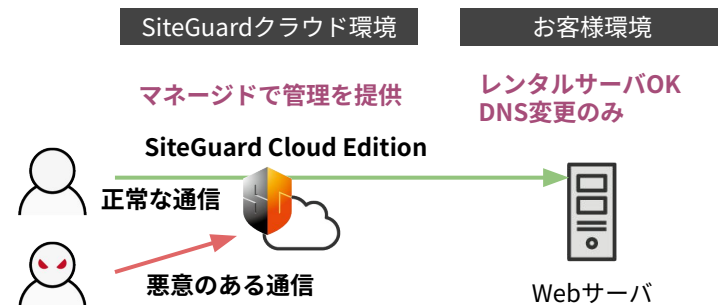
SiteGuard Cloud Edition ユースケース (1)

導入前の課題

1. 既存のネットワーク構成には手を加えたくない。
2. レンタルサーバーを利用してるので、権限の問題でサーバー側に直接WAFを導入できない。
3. 専門人材不在のため、WAFの運用や管理を適切に行うことが難しい。

SiteGuard Cloud Edition導入による解決策

1. DNS設定変更だけで導入できる。
2. クラウド型なので、サーバーの管理者権限が無くても大丈夫。
3. シグネチャが提供されているため、お客様側によるルール作成は不要。WAFの設定変更は当社エンジニアが代行。



価格の目安

月額：¥25,000～（10サイトまで保護可能）
例：コーポレートサイト
平均帯域：1.2Mbps
月間通信量：400GB

コスト管理がし易い

SiteGuard Cloud Edition ユースケース (2)

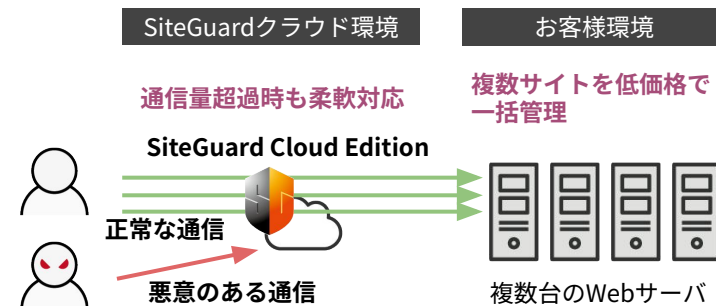
導入前の課題

1. 保護するサイト（FQDN）が複数ある。
2. 通信トラフィックの増加で予期しないコスト増を懸念している。
3. WAFの導入や運用するために自社で環境を持ちたくない。

SiteGuard Cloud Edition導入による解決策

1. 最安プランでも10サイト（10 FQDN）まで保護可能。
2. 通信量超過時、特定条件※までプラン変更不要のためコスト管理が容易。
3. クラウドサービスのため、自社でWAFの環境を構築する必要がない。

※月間通信量3割超過時、2カ月連続超過以外はプラン変更不要



価格の目安

20サイトを保護した場合

月額：¥80,000～
例：ECサイト
平均帯域：12Mbps
月間通信量：4TB

「SiteGuard Cloud Edition」が選ばれる理由

国別フィルタ機能を 全プランに標準搭載



SiteGuardシリーズは全プランで国別フィルタ機能を標準装備。これにより、特定の国からのアクセスを制限し、セキュリティを強化することが可能です。簡単な設定で国別のアクセス制御が可能で、グループやサイトごとに柔軟に設定できます。

Let's EncryptのSSL証明書 自動更新に対応



Let's EncryptのSSL証明書自動更新機能をサポート。これにより、手動での証明書更新作業が不要となり、セキュリティの維持と運用の効率化を両立できます。SSL証明書の更新が自動で行われるため、安心して運用を続けられます。

圧倒的な低価格で複数のWebサイト (10FQDN～)を集中管理可能



SiteGuardシリーズは、リーズナブルな価格設定で10FQDNから最大200FQDNまでのWebサイトを一括管理可能。クラウド型のSiteGuard Cloud Editionは、通信量に応じた柔軟な料金体系を提供し、複数のサイトを効率的に管理できます。

最短でお申込み当日に導入できる 迅速な設定作業



SiteGuardシリーズは、申請から最短当日で導入が可能。利用申請書を提出後、迅速な設定作業により、すぐに利用を開始できます。初期登録とDNS切り替えのみで導入が完了し、ネットワーク構成の変更も不要です。

「SiteGuard Cloud Edition」のここに注目！

DNS切替でWAFの導入が可能！



DNSの切替のみでWAFの導入が可能です。新たな機器の設置や複雑な設定作業は不要で、迅速かつ簡単にセキュリティ対策を強化できます。

かんたん導入・かんたん運用を実現



マネージドサービスとして提供され、専門のエンジニアが日々の運用をサポート。ユーザーは煩雑な管理から解放され、簡単にセキュリティ対策が行えます。

無駄なく快適なパフォーマンス！



通信量に応じた多様なプランを提供。最適なパフォーマンスを実現し、Webサイトの運営とセキュリティ対策を効率的に行えます。

DDoS攻撃に対応！



L3（ネットワーク層）およびL4（トランスポート層）のDDoS攻撃に対応。あらゆるレイヤーからの攻撃に対して効果的に防御し、Webサイトの安定性を保ちます。

「SiteGuard Cloud Edition」 価格（月額）

定額通信量	登録可能 サイト数	平均帯域 (参考値)	初期費用	月額料金
400GB	10FQDN	1.2Mbps	¥100,000	¥25,000
～1TB	10FQDN	3Mbps		¥50,000
～4TB	20FQDN	12Mbps		¥80,000
～10TB	50FQDN	30Mbps	¥200,000	¥170,000
～20TB	100FQDN	60Mbps		¥280,000
～40TB	200FQDN	120Mbps		¥520,000

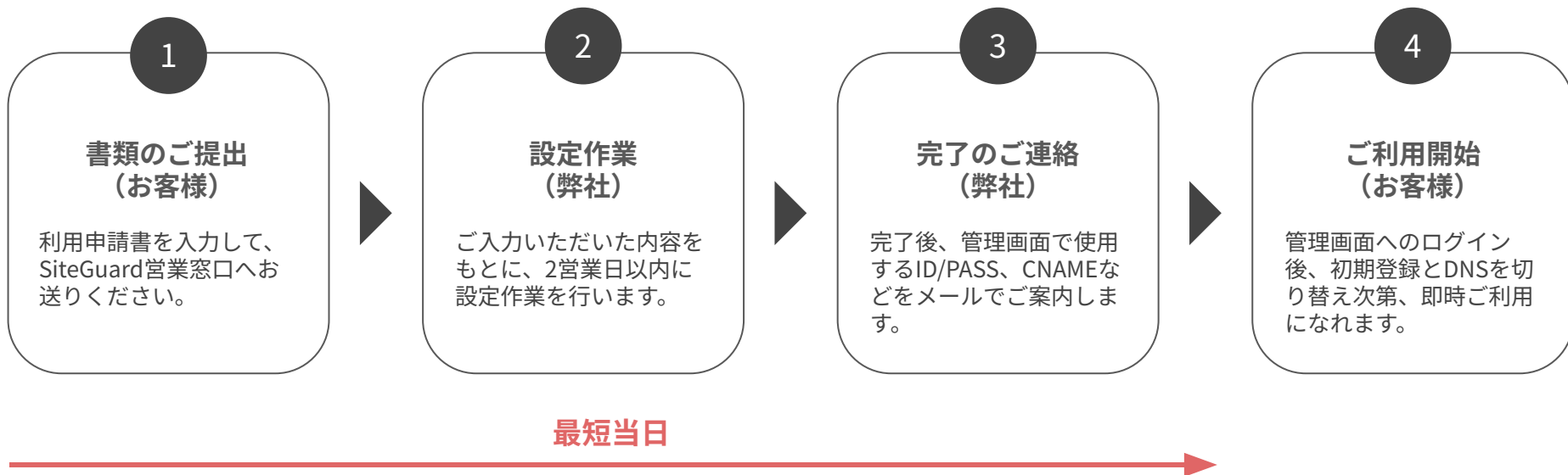
- ・金額は全て税別です。
- ・本サービスは、“サービスを提供するインフラの運用管理”、“お客様からのご依頼によるチューニング作業”をマネージドサービスとして提供します。
- ・通信量を基準とした料金体系で、月額料金には1ヶ月分の定額通信量が含まれています。
- ・2か月連続で通信量を超過した場合、または、以下の割合を超えた場合は、通信量に応じた上位プランに移行していただきます。
- ※プラン変更対象となる通信量の割合
 - 400GB～10TBプラン：3割以上の超過、20TBプラン：2割以上の超過
 - なお、40TBプランは通信量の2割を超えた場合は、1GB単位で10円/GBにてご請求いたします。

- 例① 4TBプランで月間通信量が5.2TB以下だった場合は、4TBプランを維持。超過通信量の請求無し。
 例② 10TBプランで月間通信量が13.1TBだった場合は、20TBプランへ移行。超過通信量の請求無し。
 例③ 40TBプランで月間通信量が48TB以下の場合は、超過料金の請求無し
 例④ 40TBプランで月間通信量が48.1TBだった場合は、超過通信量8.1TBを1GB単位で1GB/10円で請求請求額8.1×10円=81,000円を月額料金と合わせて請求

- ・上位プランへの変更は無償で承ります。下位プランへの変更は、変更先プランの初期費用が発生します。
- ・帯域の優先制御はなく、実際のスループットはベストエフォートになります。
- ・登録可能サイト数は10から最大200まで、プランによって異なります。
- ・プラン毎に性能（最大リクエスト処理数、CPU、メモリ）が異なります。多数のサイトを登録される場合には上位プランによるお申し込みを推奨します。
- ・本サービスのサポート内容は以下の通りです。
 - 1) 管理画面（サポートフォーム）によるテクニカルサポート（9:30-17:30/土日祝日・年末年始休暇は除く）
 - 2) バージョンアップ、最新シグネチャデータの適用
 - 3) 緊急を要する障害復旧作業（24時間365日）

ご導入の流れ（4ステップ）

最短で申し込み当日に導入可能



評価版のご案内

 **1週間の無料トライアル環境をご利用いただけます**

1 [フォームからお申込み](#)

2 1～2営業日で環境をご用意

3 1週間のトライアル

4 そのまま本番移行も可能

管理コンソールUI



評価のポイント

Point 1 - まずはログを取得

監視設定

「状態」を検出のみにすることで攻撃を検出しても遮断せず、ログのみを取得することが可能です。

Point 2 - 自社の運用に合わせてルールを設定

アクセス制御

アクセス制御機能でお客様独自のルールを登録することが可能です。国別フィルタや管理者IPを安全とみなすなど、グループ・サイトごとに細かく設定が可能です。

SiteGuardシリーズ Server Edition / Proxy Edition / Server Edition Managed License のユースケース



既存のネットワーク構成を変更せず導入可能

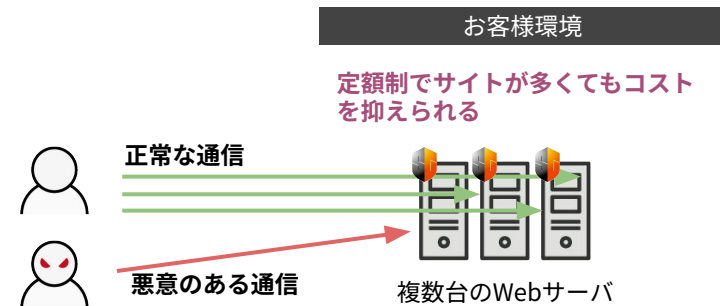
SiteGuard Server Edition ユースケース (1)

導入前の課題

1. 通信量やサイトが多いため従量課金型の料金体系では費用が膨れ上がる。
2. 既存のネットワーク構成に変更を加えたくない。
3. 自社の運営体制に合わせた柔軟なルール設定がしたい。

SiteGuard Server Edition導入による解決策

1. 定額制の料金体系のため、サイトや通信量が多くても費用を抑えることが可能。
2. DNSレコードやネットワーク構成を変更せずに導入できる。
3. 自社の運用に合わせルールを細かくカスタマイズ可能。



価格の目安

Webサーバ3台の場合

初年度：¥216,000×3 次年度：¥108,000×3

(インストールするOS単位でライセンスをカウント)

多数のWebサーバーのセキュリティ対策を一元管理

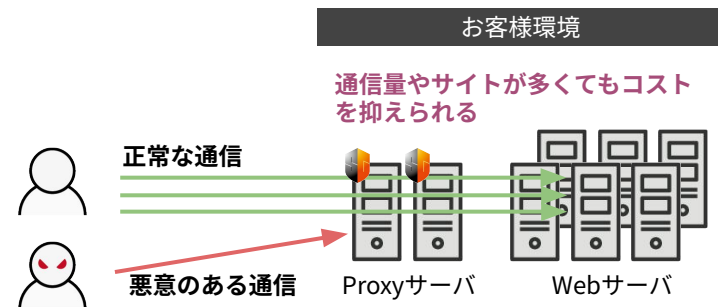
SiteGuard Proxy Edition ユースケース (1)

導入前の課題

1. 多数のWebサーバのセキュリティをまとめて管理したい。
2. 稼働中のWebサーバに対し設定変更など手を加えられない。
3. 自社の運営体制に合わせた柔軟なルール設定がしたい。

SiteGuard Proxy Edition導入による解決策

1. 複数のWebサーバに一元的にセキュリティ対策を施し、管理を効率化できる。
2. Webサーバの前段に設置するため、稼働中のWebサーバの設定変更など不要。
3. 自社の運用に合わせルールを細かくカスタマイズ可能。



価格の目安

冗長構成でProxyサーバ2台にインストール場合

初年度：1,780,000×2 次年度：534,000×2

(保護するWebサーバが何台あってもSiteGuardをインストールするProxyサーバの台数でライセンスをカウントします)

シンプル導入、おまかせ運用

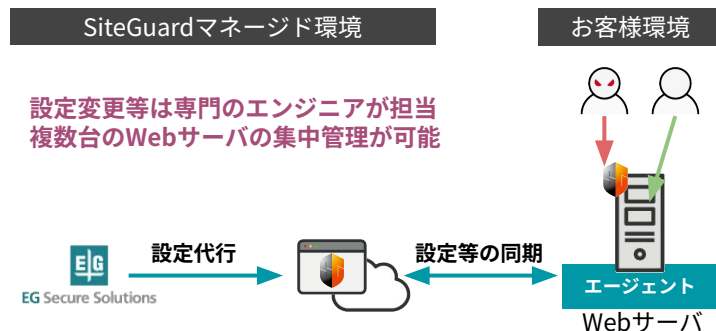
SiteGuard Server Edition Managed Licenseユースケース (1)

導入前の課題

1. 通信量やサイトが多いため従量課金型の料金体系では費用が膨れ上がる。
2. 既存のネットワーク構成に変更を加えたくない。
3. WAFの運用や管理を適切に行うノウハウや人材がない。

Managed License導入による解決策

1. 定額制の料金体系のため、サイトや通信量が多くても費用を抑えることが可能。
2. DNSレコードやネットワーク構成を変更せずに導入できる。
3. シグネチャが提供されているため、お客様側によるルール作成は不要。
WAFの設定変更は当社エンジニアが代行。



価格の目安

2024年11月リリース予定

「SiteGuard」シリーズ比較

	Cloud Edition	Server Edition	Proxy Edition
導入構成	DNS切替	モジュール (プロキシも可)	プロキシ
運用方法	マネージド（弊社）	セルフ（お客様）	セルフ（お客様）
インストール、チューニング、アップデート	不要	必要	必要
サポート	管理画面 (サポートフォーム)	電話・メール	電話・メール
DDoS対応	○※1	—	—
国単位でのアクセス制御	○	—	—
オートスケール機能	○	—	—
SSL証明書（Let's Encrypt）の自動取得・更新	○	—	—

※1 ネットワークベースの攻撃（L3/4）に対応しています。

EG セキュアソリューションズについて



会社概要

名称	EGセキュアソリューションズ株式会社（英語表記：EG Secure Solutions Inc.）
所在地	〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー 8F
設立	2008年4月2日
資本金	2008年4月2日
従業員数	41名（2024年3月末時点）
役員	代表取締役 高谷 康久
株主	イー・ガーディアン株式会社100%（東証プライム/証券コード:6050）
取引銀行	三井住友銀行 丸の内支店
事業内容	・セキュリティ製品の開発、販売、サポート ・情報セキュリティ、情報システムに関する監査、コンサルティング ・情報セキュリティに関する調査、研究、執筆 ・情報セキュリティ関連の教育及びコンテンツ制作
取得資格	ISMS-AC 【IS 575950/ISO 27001:2013】 情報セキュリティサービス基準 【020-0012-20】  

取締役 C T O 徳丸 浩

EGセキュアソリューションズ株式会社 取締役CTO
 イー・ガーディアン株式会社 CISO
 独立行政法人情報処理推進機構（IPA）非常勤研究員 技術士（情報工学部門）

X：@ockeghem

著書：「体系的に学ぶ 安全なWebアプリケーションの作り方
 脆弱性が生まれる原理と対策の実践（ソフトバンククリエイティブ）」



1985年京セラ株式会社に入社後、ソフトウェアの開発、企画に従事。1999年に携帯電話向け認証課金基盤の方式設計を担当したことをきっかけにWebアプリケーションのセキュリティに興味を持つ。2004年同分野を事業化。

2008年独立して、Webアプリケーションセキュリティを専門分野とするHASHコンサルティング株式会社（現EGセキュアソリューションズ株式会社）を設立。
 脆弱性診断やコンサルティング業務のかたわら、ブログや勉強会などを通じてセキュリティの啓蒙活動をおこなっている。

2023年イー・ガーディアングループのCISOに就任。セキュリティレベル向上だけでなく、活動を通して得たノウハウをサービスやセミナーコンテンツにも還元し、広くセキュリティの啓蒙活動に進進。

SiteGuardお問い合わせ窓口 

sg-sales@eg-secure.co.jp

03-6257-3927

<https://siteguard.jp-secure.com/>